



政策課題：誰一人取り残されない重層的支援体制整備と地域福祉の担い手確保策

R8年度

計画・評価

所管委員会：厚生文教常任委員会

作成年月日：令和8年4月14日

【現状】

- 制度の狭間にいる町民の存在
- 地域福祉の担い手不足

【目指す姿】

- 多機関協働によって誰一人取り残されない地域福祉の実現
- 断らない相談窓口が機能する体制構築

【芽室町総合計画との関係／関連するこれまでの議会の取組】

施策3-3-1 地域で支え合う福祉社会の実現

- ・令和7年11月25日第11回厚生文教常任委員会において、基幹相談支援センターの現地視察調査を行う。
- ・令和8年2月12日：第15回厚生文教常任委員会調査において、民生委員不在地域数の推移を確認。
- ・令和7年3月定例会議：一般質問の議論を踏まえ、「重層的支援体制整備」について、追跡調査を行うことを決定。

【今年度の計画】

①所管分野における以下の事項についての現状把握

- ・断らない相談支援窓口の運用状況と多機関協働状況の検証
- ・アウトリーチ（訪問支援）と参加支援（就労やボランティア活動など）の実効性
- ・地域づくりと地域福祉の担い手の確保策（町内会、民生委員、ボランティア、NPO法人等）

②本町と類似する他自治体における先進事例の調査

③社会福祉協議会や支援団体との意見交換会実施

【政策目標】

- ・断らない相談支援体制の構築
- ・地域福祉の担い手の確保

【目標達成に向けての課題】

- ・町民にとって「適切で包括的な相談窓口」が機能する体制づくり
- ・多機関協働を実現し地域福祉の担い手を確保する

[全体行程]

項目		R8年度		R9年度		R10年度		R11年度		備考
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
①現状把握	計画	→								
	実績									
②先進事例の調査	計画	→								
	実績									
③関係団体との意見交換	計画	→								
	実績									